

ALBION WEB NEWS

植物に特化した研究拠点 『アルビオン白神研究所』 自社農場を拡張し、研究開発体制を強化

>>>2016. 10. 14

株式会社アルビオン(東京・中央区、代表取締役社長・小林章一)は、『アルビオン白神研究所』において研究開発体制の一層の強化を目指し、自社農場の拡張と新研究棟を開設いたします。

アルビオン白神研究所では、世界自然遺産である白神山地の良質な水と土に着目し、独自の原料開発を目指して植物の基礎研究に取り組むと共に、化粧品原料となる植物の自社栽培を行い、2011年より白神産植物エキスを配合した商品を順調に輩出しています。設立から6年を迎え、原料の生産増加と研究開発体制の強化を目的に、自社農場を拡張し、新研究棟を建設いたします。

自社農場は従来の9,453㎡から27,411㎡と約3倍に拡張することで収穫量の増加を図り、原料の安定供給と品質の確保に努めます。また、農地の拡大に伴い、11月末竣工予定の新研究棟には植物の洗浄や乾燥・保管等に使用する作業スペースの他、実験室や事務室を設置し、研究環境を整備いたします。さらに、今年度より現地採用による新たな人材を迎え入れ、計7名体制で研究所を運営します。現地の雇用拡大に貢献し、地域に根ざした研究を推進してまいります。

現在、自社農場では「ヨモギ」をはじめ「マロウ」「イワショウブ」など約45種類の植物を栽培。雑草や害虫駆除を手作業で行い、無農薬栽培にこだわると同時に、お客様への安心・安全をお約束する上で重要なトレーサビリティを実現しています。

『アルビオン白神研究所』は今後も秋田県や藤里町と連携し、地域の発展に積極的に貢献しながら、お客様に感動していただけるものづくりを目指してまいります。



10月5日、佐竹秋田県知事、佐々木藤里町長らをお招きし、白神研究所の活動報告会を実施



佐竹県知事(中央)と佐々木町長(左)が拡張した圃場と新研究棟の建設現場を視察

【アルビオン白神研究所概要】

所在地	秋田県山本郡藤里町粕毛字米田51番2(米田研究棟) 秋田県山本郡藤里町粕毛字清水岱5番6(清水岱研究棟)※11月末竣工予定
開設	2010年
農場敷地面積	計27,411㎡
人員構成	7名(研究員6名・管理人1名)
活動内容	化粧品原料となる植物の自社栽培、植物に特化した原料の開発・基礎研究

【白神産植物エキスを配合した主な商品】

＜白神産ヨモギエキス配合＞



左：[イグニス フレッシュ ネイチャーミルク](#)
200g 6,000円(税抜)

右：[イグニス フレッシュ ネイチャーウォーター](#)
200g 5,000円(税抜)

＜白神産マロウ花エキス配合＞



[イグニス フラワー スピリット](#)＜美容液＞
80ml 7,000円(税抜)